



会津果樹情報 6月号

☆どの樹種においても着果管理は遅れずに、
病害虫防除は降雨前に実施してください! ☆



令和6年6月19日
福島県会津農林事務所 農業振興普及部
(TEL 0242-29-5307)
JA会津よつば あいづ西部営農経済センター

1 気象概況及び予報

会津若松市の令和6年5月の平均気温は17.0℃(平年比+1.0℃)で、平年より高く推移しました。降水量は74.5mm(平年比-4.0mm)で、土壌はやや乾燥傾向にあります。

東北地方の1か月予報(6/15~7/14)によると、暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並みの見込みです。

2 生育状況(6/17現在、会津若松市)

ももでは、満開が平年よりも11日、りんごでは9日早まった影響で、果実は平年よりも大きくなっています(表1)。なお、結実も良好で、着果管理が遅延している園地が見られます。

表1 各樹種の果実肥大状況(6月17日調査、暦日比較、平年は1986~2023年の平均)

樹種 品種	りんご ふじ		もも あかつき	
	縦径	横径	縦径	横径
調査地点	会津若松市 北会津町		会津若松市 神指町	
果実径 (mm)	35	37	54	48
平年比 (%)	106	116	121	124

表2 りんご「ふじ」結実果そう率調査(5月7日調査、会津若松市北会津町)

品種	結実果そう率(%)	中心果結実果そう率(%)
ふじ	73(48)	54(12)

※()内は前年同時期の調査結果

表3 会津身不知の生育状況

発芽観測日	展葉観測日	開花観測日	満開観測日
4月8日 (平年より2日、昨年より6日早い)	4月25日 (平年より5日、昨年より8日早い)	5月24日 (平年より12日、昨年より3日早い)	5月27日 (平年より12日、昨年より5日早い)

3 今後の栽培管理

どの樹種も、梅雨期は特に病気に感染しやすい時期です。
→以下の4つのポイントを抑えて徹底防除しましょう。

梅雨期で特に注意が必要な病害虫

- ・かき落葉病
- ・ももせん孔細菌病
- ・りんご斑点落葉病
- ・ぶどう晩腐病 など

- ① 薬剤防除は10日以上間隔を空けないでください。
- ② 晴れ間を見て、降雨前に散布しましょう。
- ③ SSはできるだけゆっくり走り、適正量を散布しましょう。
- ④ 夏季せん定を実施し、薬液の通りを良くしましょう。

(1) りんご

ア 仕上げ摘果

今年は、着果過多園が多く見られます。果実肥大を促進し、翌年の隔年結果を防止するため、表4を目安に、満開後60日(今年の北会津「ふじ」なら6月26日頃)までに終了させましょう。

イ 新梢管理

主枝や亜主枝の基部付近の背面から発生した徒長枝をせん除し、日当たりを確保するとともに薬剤の通りを良くしましょう。

ウ 病害虫防除

- ・既に一部園地では黒星病とみられる罹病果(図1)が見られています。
- ・薬剤のかからない箇所が無いよう散布時は留意するとともに、必要に応じて夏季せん定を実施しましょう!

表4 仕上げ摘果の基準

品 種	仕上げ摘果の目安	必要葉枚数
あかね、つがる、紅玉など	3頂芽に1果	1果あたり45枚
ふじ、陽光、ジョナゴールド 王林、さんさなど	4頂芽に1果	1果あたり60枚



図1 黒星病の罹病果
(2024/6/17撮影)

(2) かき

ア 摘花・摘果

2L以上の大玉果を生産するためには、摘果をしっかりと行うことが重要です。その後、生理落果が終了する7月中～下旬に、小果、傷果、奇形果等を中心に最終着果数を目安に修正摘果を行います(表5)。

表5 結果枝ごとの摘花程度及び最終着果数の目安

新梢長	残す花数	最終着果数
5cm以下	0個	0果
5～15cm	3本に1個	1果
15～30cm	1個	1果
30cm以上	2個	1～1.5果

イ 昨年、凍霜害を受けたカキの対応

- 新梢が多く発生している場合は、主枝・亜主枝の背面や切り口から発生した新梢を手でかき取りましょう。
- 側枝途中の年次変わり等から発生した30～40cm以上の徒長した新梢に対

しては、花芽分化期が始まる6月下旬頃に、先端を10～15cm程度摘心することで次年度の花芽分化を促すことができます。

ウ 病虫害防除

落葉病の主要感染期は6～7月で、降水量が多い年ほど発生が多くなります。降水量が多い年は、間隔を詰めて薬剤散布を実施しましょう。また、降雨前散布を心掛けましょう。

(3) もも

ア 仕上げ摘果

会津若松市神指町のモモ「あかつき」は6月24日頃に「**硬核期**」が終了すると思われます。硬核期が終わり次第、仕上げ摘果と夏季せん定を実施してください。

なお、双胚果(図2)があれば、優先的に摘果しましょう。双胚果は正常果と比べて大きく、縫合面の割裂が見られます。

イ 病虫害防除

県内では、**モモせん孔細菌病**が発生しています。せん孔細菌病は降雨で感染が広がるため、今後、梅雨期に感染が拡大する恐れがあります。病斑を見つけたら基部まで切り戻し、園外に持ち出して適切に処分しましょう(図3～5)。



図2 双胚果



図3 健全な一年枝



図4 春型枝病斑

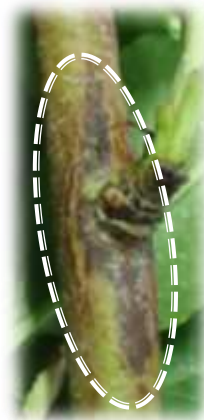


図5 春型枝病斑

※県農業総合センター果樹研究所より提供

(4) ぶどう

ア 摘粒・・・早期実施により作業効率も良く、十分な果粒肥大が期待できます！

(ア) 目的：果房の形を整えて、商品性の高い果実に仕上げるため実施する。

(イ) 時期：満開後10日～20日(露地だと例年6月25日～7月5日頃)

(ウ) 目安：花穂長 6～7cm(手のひらサイズ)

着粒数 35粒前後

収穫時房重 450g前後

(エ) 摘粒する果粒：下垂果、内向果、変形果、小粒果、サビ果

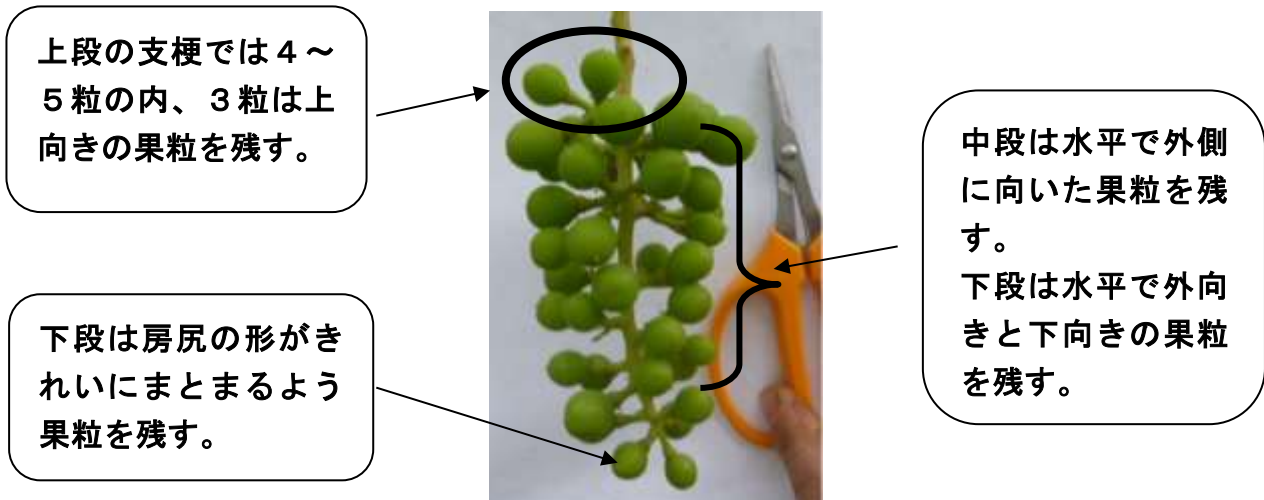


図6 摘粒の目安（シャインマスカット）

イ 病虫害防除

梅雨期は**晩腐病**（図7）の重点防除期のため、①降雨前の散布、②摘粒後のカサ掛け（図8）を行いましょう。なお、果面の汚れを防ぐため、袋かけが終了するまで展着剤は加用しないでください。



図7 晩腐病の罹病果



図8 カサ掛け

○近年、農業災害が多発しています。農業保険（農業共済・収入保険）に加入しましょう！

○降雨により脚立が滑りやすくなります。せん定で脚立を使用する際は、右の5つのポイントを抑えて安全対策をお願いします！

- (1) 設置時に**トントン**と脚を踏み込む
- (2) **天板**に乗らない
- (3) **開脚防止チェーン**をかける
- (4) 昇降時に**物を持たない**工夫
- (5) 脚立から**身を乗り出さない**



○会津若松市でクマの目撃が相次いでいます。朝夕、1人で園地に行かないようにしましょう！

○令和6年度農薬危害防止運度実施中（6/10～9/10）